

この度、願い、を持って特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構を立ち上げました。

それはアニメや特撮映像の創造と製造の過程で生み出された様々な中間制作物や資料を、文化として可能な限り後世に遺したい、という願いです。

貴重な資料が日々散逸し、永遠に失われ、それを止める術があまりに少ないのが現状です。それをなんとかしたい、という願いです。

技術の革新と衰退が世の常とはいえ、失われつつある手描きアニメや特撮映像の職人的な技術と宿っている魂を次世代に伝え、わずかでも残るものなら残していきたい、という願いです。

僕らが子供の頃から観て育てて貰った作品群に対して、出来る限りの恩返しをしたい、という願いです。

これらは個人ではとても叶えられない願いです。

なので、この願いを共有する賛同者の皆様の御協力を得て、最初の想いを持った2009年7月から8年の時を掛けて、ATACをNPOとして設立しました。

しかし、まだ様々な事が準備中という段階です。日々肅々と色々な作業や活動を進めていますが、人手や資金、収蔵場所不足等、各種の問題に立ち向っている段階です。

その上で、アニメや特撮映像に関わる資料を収集、整理し、保管し、研究し、デジタル化し、利活用可能な状態とし、世に広報し、これらの活動の為に人材を育成していかなくてはなりません。

その為には、個別の企業や個人の利害を超え、国や自治体、企業や博物館や教育機関等、そして個人とも、力を合わせてこの困難に取り組む組織に育てていかなくてはなりません。

どうか、皆様のお力をお貸し下さい。

僕らに創造と技術を与えてくれた先達や作品群への恩返しの為に、そして未来の新たな創造へとつなげる為に、重ねて、どうか、力をお貸し下さい。

よろしくお願い致します。

ATAC理事長

庵野秀明

(アニメと特撮ファン)

ATAC公式ホームページ「御挨拶」より (一部割愛)



庵野秀明 (あんの・ひであき)

1960年、山口県生まれ。学生時代から自主制作映画を手掛け、その後1982年のTVアニメ「超時空要塞マクロス」、1984年の劇場用アニメ「風の谷のナウシカ」等に原画マンとして参加。1988年、OVA「トップをねらえ!」でアニメ監督デビュー。1995年にTVアニメ「新世紀エヴァンゲリオン」を手掛け、1997年の「新世紀エヴァンゲリオン劇場版」とともに社会現象を巻き起こす。1998年、「ラブ&ポップ」で実写映画を初監督。2006年、株式会社カラーを設立し、代表取締役役に就任。自社製作による「エヴァンゲリオン新劇場版」シリーズ(2007年～)では、原作、脚本、総監督、エグゼクティブ・プロデューサーを担当している。実写映画「シン・ゴジラ」(2016年)では脚本・総監督を務めた。2017年、特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構設立、理事長に就任。同年、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。2021年3月、「シン・エヴァンゲリオン劇場版」を公開、興行収入102.8億円をマーク。2022年4月、紫綬褒章を受章。2022年5月、企画・脚本を務めた実写映画「シン・ウルトラマン」公開。2023年3月、脚本・監督を務めた実写映画「シン・仮面ライダー」公開。

ATACの活動を支援してください

活動を続けていくには毎年多大な費用が必要です。アニメと特撮の文化を後世に遺すために、みなさまのご寄付によるご支援をお願いいたします。



1,000円で
紙製の中間制作物などを収納する
透明なOPP袋を約150枚用意できます

3,000円で
劣化を防ぐ中性紙製の収納箱を1箱購入し、
資料を守ることができます。

10,000円で
適切な環境の倉庫に
1ヶ月の間、1棚分の資料を保管できます。

■ 具体的なご支援方法として、特別な規定なしの「寄付サポーター」と、継続的にご支援いただける方に向けた「賛助会員」がございます。ご都合の良い方をお選びいただければ幸いです。

	賛助会員	寄付サポーター
会員規程	規程あり	規程なし
金額	月間賛助会員 1千円/1口 年間賛助会員 1万円/1口 法人賛助会員 10万円/1口	3千円/1口より
入金方法	口座振替、クレジット決済	銀行振込、クレジット決済
その他	賛助会員名簿に名前掲載(任意)、 活動報告、メールマガジン	活動報告

■ お預かりした寄付金や会費は、資料の保存保管、管理修復のための費用を含め、アニメと特撮の文化を後世に遺すというATACの活動資金として活用いたします。

ATACは東京都から認定を受けた「認定NPO法人」です

■ 2023年1月17日、ATACは東京都より認定を受け「認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)」となりました。ATACへのご寄付や賛助会費は個人・法人いずれの場合も税制上の優遇措置を受けることが可能です。 ※制度や手続きの詳細は、税務署または税理士へお問い合わせください。

寄付申込はこちらから→
<https://atac.or.jp/support/>



資料の保存、寄贈・寄託について

- アニメや特撮の制作で使われた原画やセル画、ミニチュアや小道具、デザイン画、その他資料類などの「中間制作物」の保存に関する具体的なご相談は、公式ウェブサイト内「保存のために」記載の「お問い合わせフォーム」からお送り願います。また、ATACの活動や保存資料についてのお問い合わせ、取材等のご依頼もこちらから願います。
- 保存を続けることが困難な資料などがある場合は、どうか廃棄する前に、ATACにご相談ください。保存継続のための手助けをいたします。
- 中間制作物の劣化防止や原状回復の方法については、現在のところ有効かつ決定的な方法は掴めておらず、当面の間、お問い合わせいただいても回答は控えさせていただきます。予めご了承ください。
- ATACでは資料の買い取り、古い関連雑誌や玩具等の市販商品の引き取りは行っておりません。市販商品も文化的資料であり、展示や研究など利活用の可能性もありますが、愛着のある限りご自分の手で大切に保存されることをお勧めします。

[お問い合わせ窓口]

ATAC公式ウェブサイト <https://atac.or.jp/>



ATACからの情報はこちらにて随時発信しております。ぜひフォローしてください。



アニメ特撮アーカイブ機構
YouTubeチャンネル
youtube.com/ATAC_NPO

X : @Info_ATAC
Facebook : @InfoATAC
Instagram : @info_atac



資料5-2

特定非営利活動法人(認定NPO法人)
アニメ特撮アーカイブ機構

Non-Profit Organization
Anime Tokusatsu
Archive Centre(ATAC)

アニメと特撮の文化を 後世に遺すために



特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構(略称/ATAC)は、
アニメや特撮に関する様々な資料を保全し、
これらを活用した普及啓発を行い、
アニメと特撮の文化を継承するアーカイブ活動を推進しています。

